



松前神楽

MATSUMAE
KAGURA

国重要無形
民俗文化財

What's 松前神楽？

松前神楽は、北海道において江戸時代以来の伝統を引き継ぎ、各地でそれぞれの地域の特色を加えながら引き継がれている民俗芸能です。平成30年3月8日に国の重要無形民俗文化財に指定されました。

その起源は明らかではありませんが、『福山秘府年歴部』によれば、福山城(松前城)の槍ノ間で延宝2年(1674)に初めて湯立神楽が行われ、元禄11年(1698)正月には、獅子神楽が行われたと記されています。

松前神楽は城内で行われ、城下を中心に広まりますが、近世末から近代になり、多くの漁民がニシンを追って日本海沿岸を北上するにともない、さらに広い範囲で行われるようになりました。

現在、松前神楽は渡島、檜山、後志そして留萌地方にも伝承され、各地の120に及ぶ神社で例祭等に奏上されています。

33の演目が現在まで伝わります。



舞楽一覽

松前神樂は、現在まで12の神事と21の舞楽が伝承されています。



1

01 神舞

神職が朝夕、神前に参進し神域を祓い清める姿を表している一人舞。

02 福田舞

四方の神々を拝み、祓い清めて諸々の災いを除き、五穀豊穡を祈る一人舞。

03 鈴上舞

鈴と扇を持ち、鈴を振りながら歩む。女性の舞とされており、天女が天降る様を表す一人舞。

04 荒馬舞

鈴と扇、次に二本の扇を採物として舞う。松前藩主の愛好した馬術の様子を舞化したとされる一人舞。

05 山神舞

山神に奏上する舞で、海鳥が舞い遊ぶ様子を表している一人舞。

06 二羽散米舞

雌雄の瑞鳥の形をした兜を頭に被り、四方に舞う。夫婦和合、領内平和、五穀豊穡を祝う二人舞。

07 神遊舞

四方に舞い、矢を射る。四方の悪魔を退散し、正しい心に返す意味を持つ、天下泰平を祈願した二人舞。

08 兵法舞

太刀を持つ舞手と長刀を持つ舞手による、戦勝成就を祈る二人舞。

09 千歳舞

面箱を捧げ持ちながら舞う。老翁が長寿の文箱を得て、歓喜の様子を表す一人舞。

10 翁舞

顔が白く背が高い翁が、額に皺が寄っても身体は堅固で、数百歳を経て出世した姿を表す。延命息災・立身出世を祈る一人舞。

11 三番叟舞

背が低く顔が黒い翁が、自分の子孫が数多く、今なお健康長寿であることを喜ぶ一人舞。

12 獅子舞

御稜威舞・五方の舞・鈴上舞・面足獅子など、複数の舞がある。獅子頭を用い、悪魔退散、天下太平、福德円満を表す舞。

13 七五三引舞

舞手は後半で真剣を抜いて、舞台の上部に張られた注連縄を切り離していく。悪魔退散、国土安泰、千秋万歳を祝福する舞。

14 四箇散米舞

四人が採物を折敷、弓矢、剣、太刀と代えて舞う。松前藩の天下泰平を祈願する四人舞。

15 鬼形舞

舞手も鉦を持ち舞う。藩主より酒を賜ったアイヌが和楽している様子を表したといわれる二人舞。

16 八乙女舞

神に仕える神子乙女の祝福の二人舞。

17 利生舞

舞道は二羽散米舞と同じ。雌雄は組まず、折敷の手、神酒の手で構成される二人舞。

18 神容舞

祭場に神を招き、五穀の初穂、神酒を献ずる二人舞。現在は行われていない。

19 荒神舞

現在途絶えており、芸態は不明。真剣の白刃を咥えて宙返りする危険な一人舞であったといわれる。

20 湯倉舞

現在途絶えており、芸態は不明。

21 神送舞

現在途絶えており、芸態は不明。神事が終了するにあたり行われる昇神の一人舞と推定される。

この他に、12の神事からなる「湯立神事」があります。楽器と神歌を奏し、釜を塩や御幣で清め、祝詞を奏上し、釜の湯に吉凶を伺い、その湯で周囲を祓い清めるものです。



2



3



4



5



6

発行・お問い合わせ

松前神楽松前ブロック連合保存会

〒049-1511 北海道松前郡松前町字松城 145 番地 松前神社